

## 書誌レコードをバッチでインポートする

こんにちはこのセッションでは入力ファイルから書誌レコードを Alma にインポートする方法とインポート結果を表示し、エラーを解決する方法を学習します

共同目録プロジェクトや Alma 本体など、元のシステムから Alma のリポジトリにレコードをインポートできます

例えば、クリーンアップのためにエクスポートされたレコードを再インポートする場合です

元のシステムは、MARC XML などの形式で入力ファイルを提供します

次に、Alma でインポートを手動/スケジュールで実行しファイルを取得し、レコードをリポジトリにインポートします

Alma でのインポートは、インポートプロファイルを使用して設定/実行されます

新しいインポートプロファイルを構成する方法については、ドキュメントを参照してください

インポートを手動で実行するには、[リソース]>[インポート]>[インポート]に移動します

ここでは、機関向けに設定された様々なインポートプロファイルを確認できます

各インポートプロファイルは、そのインポートのニーズに合わせて特別に構成され

入力ファイル形式、使用されるマッチングルーチンなどを考慮します

プロファイルタイプでフィルタリングできます

リポジトリは、書誌レコードを読み込むために使用されオプションで、物理的インベントリー/電子インベントリーを追加します

Alma の他のエンティティには、独自のインポートプロファイルがあります

リポジトリでフィルタリングしてみましょう

目的のインポートプロファイルを見つけて、[オプション]>[実行]をクリックします

[ファイルの選択]をクリックします

入力ファイルを参照し [追加]をクリックします

必要に応じて、複数の入力ファイルを含めることができます

[送信]をクリックします

[インポートの監視と表示]ページでは送信されたばかりのジョブを確認できます

インポートが実行中の場合は、[更新]をクリックできます

ジョブが正常に完了しました

ジョブの[オプション]の下で、インポートしたレコードを確認できます

この例では、レコードはインベントリーと共にインポートされています

[インポートを監視する]ページに戻りましょう

[リソース]>[インポート]>[インポートの監視と表示]でアクセスできます

または[戻る]をクリックします

[ジョブの監視]に戻ると、ジョブのレポートを表示できます

開始時間と終了時間、インポートの結果などの詳細情報を確認できます

レポートのさまざまなセクションを展開できます

インポートされた書誌レコードなどです

各行でレコードのプレビューやXMLフォーマットでのダウンロードなど、アクションを実行できます

[ジョブの監視]に戻り、インポートされたファイルの詳細を表示できます

[ジョブイベント]ページには、インポート中に発生した可能性のあるエラーの詳細が表示されます

これはトラブルシューティングに役立ちます

インポートジョブは、さまざまな理由で失敗したり、エラーで完了したりする可能性があります

エラー処理が必要なジョブを表示するには、[ステータス]フィルターでジョブをフィルター処理します マニュアル操作が必要です

操作したいジョブのステータスをクリックします

これにより、[インポートの問題を解決する]ページに移動します

ここには、[リソース]>[インポート]>[インポートの問題を解決する]から移動することもできます

ここでは、マッチング、検証、およびエラーに関する問題を処理できます

[マッチング]タブでは、インポート時に自動的に解決されなかった Alma の 1 つ以上の既存レコードと一致するレコードを持つファイルが一覧表示されます

ファイルを選択することにより、ファイルレベルで操作できます

一致したレコードを拒否したり、ファイル全体を拒否したり インポートを承認してレコードを統合できます

または、一致したレコードを個別に処理することもできます

目的のファイルについて、[アクション]>[編集]をクリックします

レコードを処理するには、[マッチングを表示する]をクリックします

ここでは、ファイルのレコードと一致したレコードを表示できます

複数一致する場合は、一致するレコードを選択できます

いくつかのオプションを使用して一致を解決できます

[インポートの問題を解決する]ページに戻り、[検証]タブを見てみましょう

インポートされなかったレコードを含むファイルが見つかりました

レコードの検証時に見つかったエラーが原因です

ここでもいくつかのファイルについて未検証のレコードを拒否したり、ファイル全体を拒否したりすることができます

その後、拒否されたファイルを編集して再インポートできます

また、[オプション]>[編集]でファイルの未検証のレコードのすべてまたは一部をインポートすることもできます

最後に、[エラー]タブには、さまざまなエラーが原因で失敗したファイルが一覧表示されます

失敗したファイルをダウンロードし、Almaの外で修正して、再インポートすることができます

以上になりますありがとうございます